

沿革

昭和51年

財団法人大阪住宅センター設立許可
（設立発起人代表 大阪商工会議所会頭）
新大阪住宅展示場開場（平成元年まで）

昭和53年

泉北ニュータウン住宅総合展示場開場（昭和57年まで）
住宅関連商品情報センターを泉北に開設

昭和55年

事務所を住友中之島ビルに移転

昭和56年

高槻住宅展示場開場（昭和59年まで）

昭和57年

泉北とが展示場の開場（平成4年まで）

昭和61年

事務所を心斎橋東急ビルに移転

昭和63年

中之島ロイヤルハウジングガーデン開場（平成5年まで）

平成元年

新御堂みのおハウジングガーデン開場（平成21年まで）

平成4年

花博記念公園ハウジングガーデン開場（現在に至る）
岸和田住宅総合展示場開場（平成24年まで）

平成6年

ジェトロ大阪輸入住宅展示場開場（花博展示場内）（平成15年まで）

平成7年

関西国際空港りんくうハウジングパーク開場（平成17年まで）

平成8年

関西国際空港りんくうハウジングパークが大阪府の「すまいアップセンター」になる

住まいに係る研究啓発に対し、建設大臣表彰を受賞
大阪府緑住タウン推進研究会設立

平成12年

住宅性能評価業務開始

平成23年

一般財団法人へ移行認可（大阪府知事）

平成25年

「低炭素建築物等計画に係る技術的審査業務」開始

平成26年

独立行政法人住宅金融支援機構と協定書を締結し、フラット35等に係る「適合証明業務」を開始

令和5年

事務所を THE PEAK SHINSAIBASHI に移転